



平成30年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

一緒にいようよ、温かいから。

床の肌さわりが優しい。

開放感がある。光が踊る。



家族が自然に  
集う暮らし。  
木の家で、叶います。



自然がはぐくみ、人の和が育てる……………木のぬくもりあふれる、堅実な暮らし。WOODY STEADY LIFE 2019

茨城県木材協同組合連合会



## 地元の大工が地元の木で作る。 日本の「いい家」のつくりかた。

■地元の大工が地元の木で建てるといい家になる、  
と言われます。南北に長い日本は気象や地理条件  
が地域で異なり、その土地独自の材の選び方、組立  
方など長年積み重ねられた経験や工夫を取り入  
れる地元の大工こそが、長く住める家を建てられ  
るからです。また、地域大工・工務店は完成後も  
きめ細かいアフターメンテナンスや修繕に対応しま  
す。地域には信頼関係に根ざした安心できる家づ  
くりのシステムが構築されていたのです。■茨城県  
では家づくりの原点に戻り、地域が育んだ木材を  
利用し現代のライフスタイルに合う木造住宅を適  
正な価格で提供するため、地域の木工・工務店と  
建築設計事務所が連携・協力しながら、家づくり  
を通して建築主との信頼関係を育てていく、安心  
と信頼の地域ルール「いばらき地域適合型木造住  
宅供給システム(自然が育み、人の和が育てる)」を  
確立したいと考えています。■関連事業者の連携、  
協力のもとに提供された良質な木造住宅の企画や  
提案を含む建築実例を募集し、ここにまとめまし  
た。皆様の家づくりの検討の一助となれば幸いです。

### ● 4つの庭

(有)宮本建築アトリエ  
+ (有)タカ才建設  
01

### ● 人が集まる家

西原有希子建築設計事務所  
+ (株)岡田工務店  
02

### ● 笠間城下町の家

大竹建築工房  
03

### ○ 木の香りいっぱいのお家カフェ

(有)沖山製材所  
04

### ○ 木の温もりに包まれた家

m-style 1級建築士事務所  
+ 環境保全事業(株)  
04

### ○ 趣きを残し継承される家

m-style 1級建築士事務所  
+ (株)渡辺建工  
05

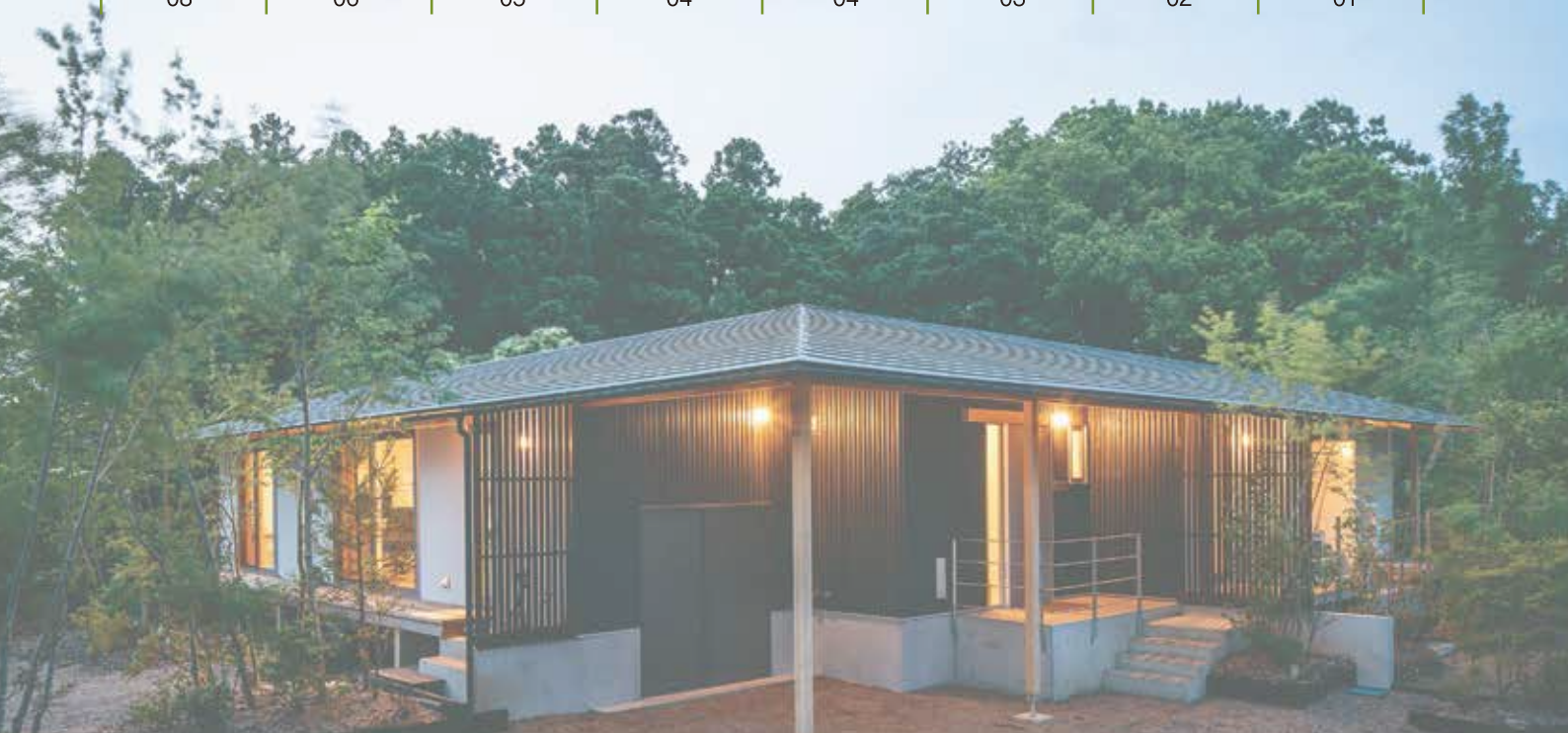
### 「いばらき地域適合型木造住宅」とは

06

### 【講評】

(二社)茨城県建築士会会長  
柴 和伸

08



●…平成30年度いばらき地域適合型住宅コンペ最優秀賞作品    ●…優秀賞作品

※表紙および作品紹介以外のページに掲載された写真はすべて「最優秀賞：4つの庭」のもので

※受賞者の意向等により、「坪単価」「延床面積」等の掲載がない作品もございます。ご了承ください。 ※各作品の「坪単価」は税別価格です。



最優秀

# 4つの庭

(有)宮本建築アトリエ + (有)タカ才建設



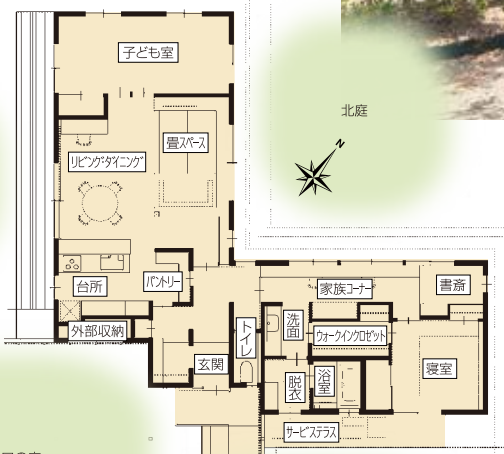
曲線がのびやかな天井と大きな窓で、高い採光性と視覚的な広がりを実現する。明るいリビング・ダイニング。



明るく暖やかなリビング・ダイニングスペースと、静かな書斎・寝室をつなぐのは「家族コーナー」。



周囲を緑に囲まれた静かな環境に馴染み、落ち着いた感のある平屋建ての外観。



南庭

北庭

入り口の庭

サービスヤード

申請者	(有)宮本建築アトリエ
連絡先	029-244-7711
工事施工者	(有)タカ才建設 029-241-1650
延床面積(坪)	115.24m <sup>2</sup> (34.86坪)
坪単価	700,000円

外に向かって拓かれる視界。庭との繋がりを存分に味わえる家。

■北側に雑木林が残る、緑豊かな立地にL字型の住宅を中央に配置。「違う個性を持つ4つの庭を設けました。南庭は畑が広がるパブリック空間。入り口の庭は車や来客を迎える場所。サービスヤードは水回りや寝室に面し、朝日のそそぐ庭として味わえる庭。北庭はリビングや家族コーナー、書斎とゆつたり過ごす場所に面して配置し、雑木林を望める庭としました。」内部は、L字の中央に配置した玄関から南

側をパブリック、東側をプライベートスペースとして計画。大小様々な空間を配置し、居場所をたくさん作り、家族が自由に使える家となった。■合理的な架構やスパンの計画で、県産材を積極的に利用する計画。柱や梁を現しに化粧材としても利用。外部軒天には耐久性に考慮し、県産材杉の厚板を利用。リビングの曲面天井に県産材杉の小幅板を使用。リビングやダイニング、廊下とし、木を感じながら生活できる空間に。窓枠や内部の建具枠についても、県産材の杉板を積極的に利用している。



優秀

# 「人が集まる家」

西原有希子建築設計事務所 + (株)岡田工務店



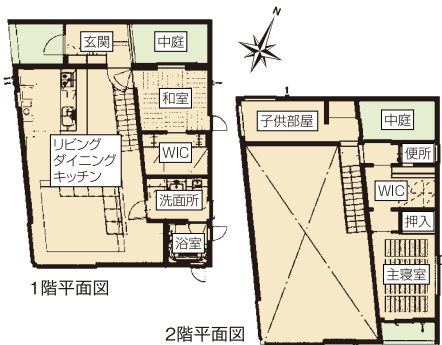
家の主役はリビング・ダイニング。大きな窓から見える景色を堪能しながら、大勢の来客と過ごすことを好むライフスタイルに適したプランが徹底されている。



ダイニングスペースからリビングを見る。大空間といえる1階部分に、家族の声が優しく響く。



↑青が印象的な洗面・トイレ・浴室スペース。暮らしを彩る空間。  
←機能性と収納力の高い、使い勝手の良いキッチン。



1階平面図

2階平面図

申請者：西原有希子建築設計事務所

090-1914-0570

工事施工者：(株)岡田工務店 029-841-0844

延床面積(坪)：101.68m<sup>2</sup>(30.76坪)

1階床面積：67.08m<sup>2</sup>(20.29坪)

2階床面積：34.60m<sup>2</sup>(10.47坪)

茨城ならではの視界の広がりを活かし、自然、緑、季節の恩恵を享受する家。

■平野である茨城には山脈や高層の建物など視界を遮るものがなく、青空が広がり、雨天時は雨雲が動く様子も見え。そんな自然と大地のすごみを眺めることができる家。「施主は夫婦と子の4人家族。転勤で7年前に兵庫から茨城へ。南側にはかつて田んぼだった休耕地が4m下に広がり、陽当りを遮るものは全くない。自然が豊かで、野鳥や季節の虫の音が耳に心地良い立地から、茨城ならではの暮らしを堪能できる家を目指しました。」

■二見、正方形のように見えるが、西からの来客が多いことから、直角ではなく少々ゆるい角度を設定し優しい印象になっている。

■構造材は基本的に地域材を採用し、できるだけ予算内で国産の材料を使用。玄関は八溝杉を使用。

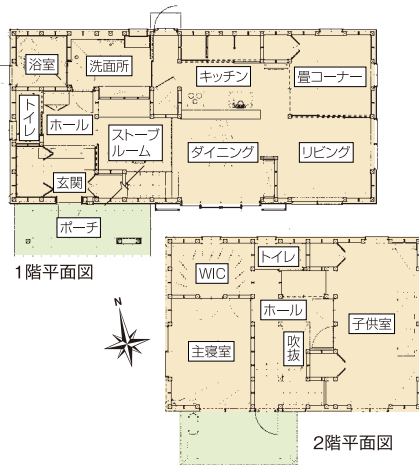




スタイリッシュかつアクセントの木が暖かみを持ち、空の色に馴染む外観。陽光をふんだんに取り込める大きな窓は、家族だんらんにも暖かな日差しをもたらす。



↑ 足触りのよさが、家族の健康と元気を支える床材。節のひとつひとつに思い出が残り、愛着がうまれる。小上がりで心地良く過ごせるリビング。  
←薪ストーブには、手入れや薪の準備を含め、生活を「楽しむ」姿勢が求められる。



申請者	大竹建築工房 0296-71-8516
工事施工者	大竹建築工房 0296-71-8516
延床面積(坪)	107.65m <sup>2</sup> (32.56坪)
坪単価	650,000円
1階床面積	64.59m <sup>2</sup> (19.54坪)
2階床面積	43.06m <sup>2</sup> (13.02坪)

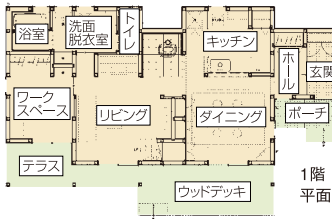
「キズも風合い、味わいのひとつ。」  
 施主の木の家への深い理解を表現。

■笠間稲荷神社近くの、城下町の風情が残る地域。「当時、第二子妊娠中の奥様から、子育てと家事のしやすい動線を、との要望が。キッチンを中心に回遊性をもたせ、できるだけ家事動線を短くしました。」物干し場のバルコニーへは踊り場からアクセスできる矩計にし、料理中も乳幼児の様子を確認できるようキッチン近くに小上がりの畳コーナーを設けた。建具で仕切れて、来客用の寝室としても利用できる。いずれは施主の寝室にでき、長期にわたって「階だけで生活できる計画だ。■「旦那様のご要望は薪ストーブの導入。いずれは子供と薪づくりを楽しみたいとのことでした。ストーブ熱

が建物全体にいきわたるよう二階の中心に据え、煙突もメンテナンスしやすいように階高を抑えました。」■夏は高湿度で蒸し暑く、冬は乾燥し寒さが厳しい地域。八溝山系の杉を構造材として採用し、そのまま表しに。夏は柱や梁が吸湿して蒸し暑さを緩和し、冬は放湿することで空気を程よく潤す。床材は県産杉の赤身材を笠間市内の製材所でフローリング加工し使用。杉は柔らかくて足触りがよく、コストパフォーマンスも良い。反面、傷がつきやすいが「キズも風合いだし、それが味」という考え方の施主様にはおすすめの建材でもあった。



# 木の香りいっぱいのお家カフェ (有)沖山製材所



申請者:	(有)沖山製材所 029-847-3219
工事施工者:	(有)沖山製材所 029-847-3219
延床面積(坪):	125.86m <sup>2</sup> (38.07坪)
坪単価:	570,498円
1階床面積:	72.87m <sup>2</sup> (22.04坪)
2階床面積:	52.99m <sup>2</sup> (16.03坪)

■三〜四十代の子育て世代をメインにした飽きの来ないシンプルなデザイン。五感で感じる木の良さ、経年変化を踏まえた付き合い方の提案がコンセプト。

■生活スタイルの変化に対応しやすい間取り、シンプルな動線、メンテナンスがしやすい仕様で、生涯にわたり愛着を持って付き合える家となるようサステナビリテイにおいても配慮した。■お気に入りのカフェで過ごすような特別な時間を楽しむ事ができる生活。薪ストーブの炎を眺めながら淹れたてのコーヒーの香りに包まれ、家族や親しい友人との会話に花を咲かせる。

# 木の温もりに包まれた家



申請者:	m.style一級建築士事務所
	029-845-3500
工事施工者:	環境保全事業(株) 029-282-8855
改修面積(坪):	106.45m <sup>2</sup> (32.20坪)
1階改修面積:	82.49m <sup>2</sup> (24.95坪)
2階改修面積:	23.96m <sup>2</sup> (7.25坪)

■築約四十年の家を親子へ引き継ぐタイミングでのリノベーション。既存の間取りは台所・居間・寝室がそれぞれ独立していたが、間仕切りを取り除き広々とした明るいLDKを実現。動線を考え、使い勝手の良い新しい空間となった。内装は県産材のリフォーム補助金を利用した県産材を多く使用。木のぬくもりに包まれた温かな雰囲気を感じられるリノベーションとなった。■施主自ら施工会社主催の大工塾へ参加し造作家具を作ったり、内壁仕上は職人から手解きを受け施工したり、施主と職人との良い信頼関係の中で工事が進められた。

m.style | 級建築士事務所  
+ 環境保全事業(株)





■ 築三十七年、入母屋の重厚な瓦屋根、和室の続き間を取り囲むくれ縁のある昔ながらの民家をフルリノベーション。二階で生活が完結するように、日当りの良い続き間をLDKに。スタディーコーナーやパントリー、裏玄関など回遊できる動線計画。

■ 二階は間仕切や天井を取り払い、多目的に使える空間。将来的に子ども部屋として想定している。■ 内外装共に既存の骨組みや装飾を生かす事を心掛け、趣きを残し落ち着きのある再生とした。入れ替えを行った構造材や内装材の50%以上に県内の製材事業所で製材された県産材を使用している。

申請者：m・style一級建築士事務所
029-845-3500
工事施工者：(株) 渡辺建工 0296-37-6124
延床面積(坪)：188.48m <sup>2</sup> (57.01坪)
1階床面積：141.69m <sup>2</sup> (42.86坪)
2階床面積：46.79m <sup>2</sup> (14.15坪)

応援します。

“茨城らしい家づくり”

茨城で暮らすなら、

茨城らしい家がイチバン適している。

茨城らしい家は、

職人達がイチバン知っている。

設計業者や材木店、大工・工務店など

「茨城の家づくり専門職」による

住まいづくりを応援しています。



茨城県木材協同組合連合会は、会員相互扶助の精神に基づき、協同して林産(木材、製材)に関する事業を行うために必要な施設をなし、会員の公正な経済活動の機会を確保し、もってその自主的な経済活動の促進と経済的地位の向上を図ることを目的としています。

茨城県木材協同組合連合会





## 「いばらき地域適合型木造住宅」とは？

### 気候風土を踏まえ、地域材を活用してつくる家。

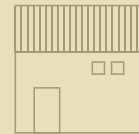
茨城県の気候・風土等の地域性を踏まえ、地域材(※)を活用し、かつ、ユーザーにとって充実感のある住宅とし、これからの木造住宅の指針となるべきコンセプトを明確にした住まい。

※地域材とは次のいずれかに該当する木材及び木材加工品。

①県内の森林から生産された原木により製材されたもの。②県内の製材事業所で製材されたもの。

#### 【主な設計基準】

- (1) 地域材を構造材全数量の50%以上使用していること。
- (2) 内装材として、地域材を積極的に活用し、快適でやすらぎのある住空間とすること。
- (3) 住宅の長期の耐久性を確保し、また、地域の自然、景観、生活様式等と調和し、世代を超えて継承・持続されるような工法・間取り・デザイン等を採用すること。



#### なぜ地域材がいいの？

地域の森林の活性化を図り、地球にやさしい家づくりができる。

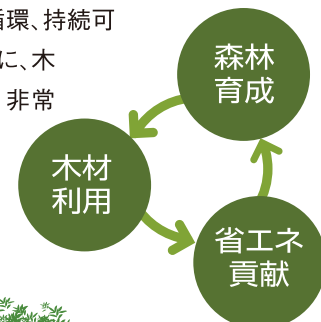
■森林は、化石燃料などの代替エネルギーとして注目されています。成長期に高レベルの二酸化酸素削減効果を発揮し、地球温暖化の防止策としても役立ちます。

■地域の森林資源を積極的に活用し、同時に植林を進め、常にバランスのとれた循環を整え、資源を生み出しながら、地球環境保護に貢献する森林を育成できる。地域材を使用する意義はここにあります。

#### 地球環境を守るサイクルとは？

「森林育成」「木材利用」「省エネ貢献」。次代につなぐ、大切なサイクルです。

■森林を育成するためには、木材の利用を促進する必要があります。木材で建築資材を作ることは、他の原料よりも効率がよく、また余分なエネルギーがかかりません。冷暖房費の節約にもつながり、省エネへの貢献度も決して小さくありません。■家づくりに用いられた木材が、いずれ土をはじめとする自然に還り、また森林を育成していく…。自然の循環、持続可能なエネルギー確保のために、木を使って家を建てることは、非常に有用なのです。





## ご存知ですか？ 地域の木材を使うメリット。

### 1 地域の風土に馴染みやすい…「地域材は腐りにくく、家が長持ちする」

日本人は古来から、「地元の木を使った木造住宅」で暮らしてきました。今で言う「地産地消」です。

木は、土地の気候風土、環境に適応しながら成長します。つまり、その土地で成長する`抵抗力、をつけながら育つということ。

家づくりにその適応力を活かすことで、丈夫な家を作りだしているのです。



### 2 その土地の家づくりに精通した、身近なプロがいる



「その土地で育った木を使って、その土地の大工が建てる家が、最も丈夫で安心して暮らせる」と言われる理由のひとつ。気候の変化や風の入り方、夏の暑さや冬の雪の量に対応する方法など、その土地でつくる家の「あり方」を最もよく知るのが、その土地の大工です。地域材を使うことを前提に始める家づくりは、自然と地域の大工が関わります。色々なことを知り、教えてくれる身近なプロの知識を最大限に活かす家づくりはいかがですか。

### 3 材料の輸送にかかるコストを軽減できる

建材を家づくりの現場に持ち込むための運搬距離の短さは、そのままコストの低減につながります。同時に、輸送過程でのCO2排出量は、地域材以外の外材を使う家づくりの数分の一に抑えられます。

お財布と環境への負荷が少なくなること。

地域材を使う家づくりの、大きなメリットのひとつです。



環境に優しく、コストを抑えながら、丈夫で安心できる家の実現。  
あなたの大切な家づくりをていねいに支える、地域材のご利用を推進しています。



「平成三十二年 度

いばらき地域適合型木造住宅コンペ」の審査を終えて

一般社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸

Comment

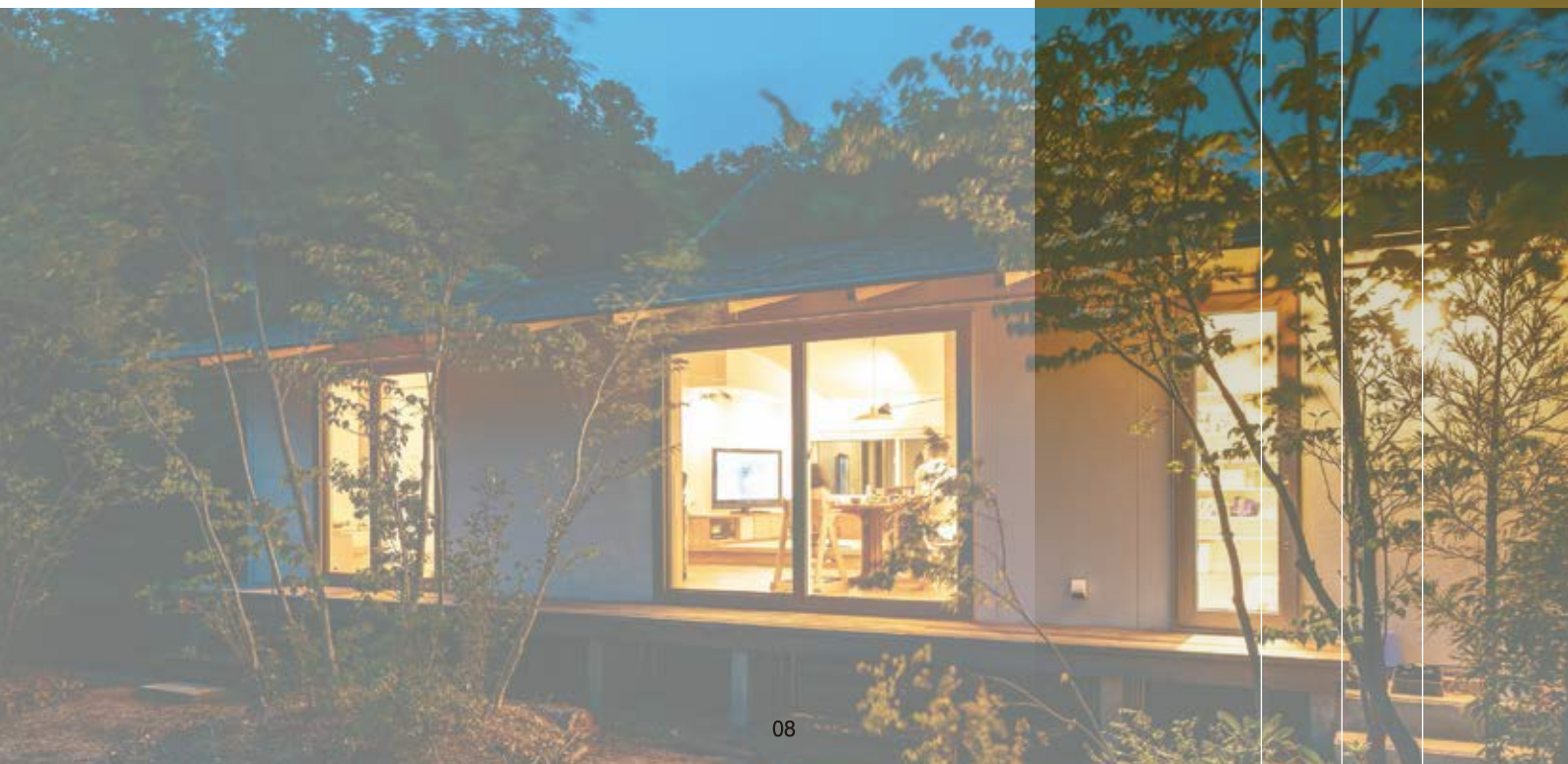
平成三十二年 度「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」には、建築設計事務所と地域の工務店、そしてそれぞれの専門技術者の皆さんが協力し合いながら知恵を結集し、地域が育んだ地域材を活用し、現代のライフスタイルにあわせた木造住宅八作品（リフォーム住宅を含む）の応募がありました。

竣工した住宅作品によるコンペは今年で八回目を迎え、設計者・施工者の経験と知恵を傾注し、今回もそれぞれの作品が敷地を有効に活かし周辺環境に調和した作品となっています。地域の気候風土を踏まえながら、地域材を用い、設計者・施工者それぞれの経験や知恵によつて培われた専門技術を注いだ住宅は、改めて木造住宅の素晴らしさを感じさせてくれました。

応募作品はいずれも、茨城県産木材を用いながら、木の持つ優しさ、あたたかさを生かした力作揃いとなりました。

審査は、七名の審査委員に応募作品の中からそれぞれが最優秀作品二点、優秀作品二点を選出、投票いただき、上位選出作品の中から審査員の講評をいただきながら慎重に検討の結果、最優秀作品「4つの庭」、優秀作品「人が集まる家」、優秀作品「笠間城下町の家」の三作品に決定いたしました。

惜しくも選外となった応募作品も、それぞれが県産木材を生かした力作であり、応募された方々には審査委員長として感謝申し上げますと共に、次の機会にはさらに二層の力作の応募を、ご期待申し上げます。







## 【最優秀作品】

### 「4つの庭」

それぞれに特徴のある四つの庭を配し、敷地の特長を巧みに生かした計画となっています。パブリックな空間とプライベートな空間のコントラストが、自由で変化のある住空間を生み出しています。合理的なスパン割と架構により、整然と配置された柱や梁は、デザインとして積極的に空間に取り込まれています。木材の特性を生かしながら、さまざまな工夫を凝らした空間は、木の持つやさしい雰囲気溢れた住空間を作り出しています。

## 【優秀作品】

### 「人が集まる家」

土地の景観を生かしながら、来客動線に気を配った計画となっています。豊かな自然の中に佇む家として、周囲の景観に調和した外観は、やや変形した台形状の平面計画によるバースペクティブな視覚効果により、やさしいアプローチ空間を生み出しています。高さのある空間と、床面から天井まで切り取られた開口部により、広がりのある空間を作り出しています。県産材を用いながら、シンプルでやさしい色調のデザインは、豊かな自然に調和した、人が集いたくなる作品となっています。

## 【優秀作品】

### 「空間城下町の家」

木の特性を生かしながら、地域の気候風土に根差した計画は、そのままの形で家族のライフスタイルに添った計画となっています。断熱性や吸湿効果の高い木材をふんだんに用いることにより、質の高い住空間を生み出しています。持続可能な空間を目指した計画は、メンテナンスへの配慮はもとより、時間とともに変化するライフスタイルの変化も見据えた計画となっています。シンプルな切妻屋根や、木質系の外装を施した外観により、周囲の景観に調和した作品となっています。

#### ●審査委員長

柴 和伸

（二社）茨城県建築士会 会長

#### ●委員

舟幡 健

（二社）茨城県建築士事務所協会 会長

小葉 拓巳

（二社）茨城県建設業協会 建築委員長

森 秀男

（株）山森取締役会長

浅川 清司

（茨城県木材協同組合連合会 木造建築部会長

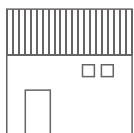
佐藤 信聡

（茨城県農林水産部次長兼 林政課長

足立 信幸

（茨城県土木部都市局 住宅課長）





平成30年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

この冊子は「いばらき地域適合型木造住宅」の基本的な考え方を啓発普及するために作成されたものです。掲載される記事内容はすべて各チームからの提出書類を要約したもので、「宣伝広告」を意図したものではありません。  
また当連合会では、これら各グループへの仲介斡旋は一切行っておりません。



主 催／茨城県木材協同組合連合会  
協 力／茨城県  
後 援／(一社)茨城県建築士事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

〈お問合せ先〉  
茨城県木材協同組合連合会  
TEL.0294-33-5121(代) FAX.0294-33-5191  
〈e-mail〉mokuren@atlas.plala.or.jp  
茨城県土木部都市局住宅課  
TEL.029-301-4759 FAX.029-301-4779